

循環器科 より安心に

伊達赤十字病院

患者24時間365日受け入れ

【伊達】伊達赤十字病院（伊達市末永町、久居弘幸院長）は4月から循環器科の常勤医が1人増え4人体制となった。これを受け24時間365日、循環器科救急疾患の受け入れを可能とした。さらに同科医師と各医療機関や救急隊を結ぶ専用ダイヤルいわゆる「ホットライン」も開設。迅速な対応に期待がかかる。

（奥村憲史）

常勤医1人増え4人体制



循環器科救急疾患の受け入れについて説明する小笠原医師

同院は、胆振西部はもちろん渡島管内長万部町、後志管内黒松内町や留寿都村なども医療圏内に持つ。地域の基幹病院として急性期医療を提供する中、マンパワー不足による救急患者の受け入れ困難な状況は同科の課題だった。

新たな医師の赴任で、第2循環器科部長の小笠原大介医師ら計4人体制となり、24時間の受け入れが実現。ホットラインは医師が直接対応することで、具体的な状況の把握ができる。同科は「一定規模の大きなまちの病院でできることが、この地域でもできるようなった」とその意義を強調する。

同院によると、現在、近隣の各医療機関に周知を開始。救急患者の紹介の受け入れを始めているという。小笠原医師は「住民の安心につながる。地域医療に貢献できる形ができた。しっかりと役割を果たしたい」と力を込めた。